



総務部

「しまのゆんたく in 慶良間」を開催してく る環境の保全と観光の両立を目指してく

沖縄総合事務局では、新たな離島振興策の一環として、地元行政機関、地域住民等が一堂に会して、「ゆんたく」し、地域の発意による地域活性化の端緒とする」とを目的に、「しまのゆんたく」を開催しています。

6月4日(水)、5日(木)、国内で31番目の国立公園に本年3月に指定された慶良間諸島において、「しまのゆんたく in 慶良間」を開催しました。

■慶良間の振興「一体で」

初日は、渡嘉敷村在住者が座間味村へ、座間味村在住者が渡嘉敷村へ、相互通じて村内を巡り、慶良間諸島における環境保全の課題や観光振興による島おこしを議論の中心に、各村ごとに分科会を行いました。

2日目は、「環境の保全と観光の両立」をテーマに、(株)カルティベイト開梨香代表取締役社長による講演が行われました。その後、ゆんたく本会では、両分科会の代表者から慶良間諸島が抱える課題や解決方策について発表がありました。

渡嘉敷分科会からは、年間を通して安定した集客のため、特に冬場の観光メニューの開発(平準化に向けた戦

略)、質の高い来島者を呼び込むための高品質なサービスの提供(質を重視する戦略)、渡嘉敷島を中心とした再訪してもらうための修学旅行の受入やビーチクリーンなど環境保全活動(長期的視点にたつた戦略)の「3つの戦略」について提案がありました。



ゆんたく本会での議論の様子



参加者全員で

多言語化に向けた取組などが紹介されました。

会合の終わりに、渡嘉敷・座間味両村長より、国立公園の指定やこの「しまのゆんたく in 慶良間」をきっかけにして、これまで以上に両村が協力して、環境を守りつつ地域を活性化していく

たい旨、発言がありました。当局では、引き続き、慶良間諸島における地域活性化の活動を支援するとともに、他の離島等においても、地域の発意による地域活性化を進めるお手伝いをしてまいります。